

東京都豊島区「子どもスキップ」

◆「子どもスキップ」とは

東京都豊島区が展開する「子どもスキップ」は、小学校施設を活用して、全児童を対象とする育成事業と放課後児童クラブを総合的に展開している。学校の教室、校庭、体育館などを活用し、小学生1年生から6年生までの児童を対象として、自主的な参加のもとに遊びをとおして、子どもたちが交流を広げる事業である。

「子どもスキップ」の中には、保護者の方が就労等の理由により、放課後の時間帯に家庭が留守になる児童を預かる「放課後児童クラブ」もあり、この「放課後児童クラブ」登録児童とそれ以外の児童（一般児童）が交流することも目的のひとつになっている。

◆ 事業実施状況

○実施箇所数：10ヶ所（豊島区内の小学校は全体で23校） ※H18年4月現在

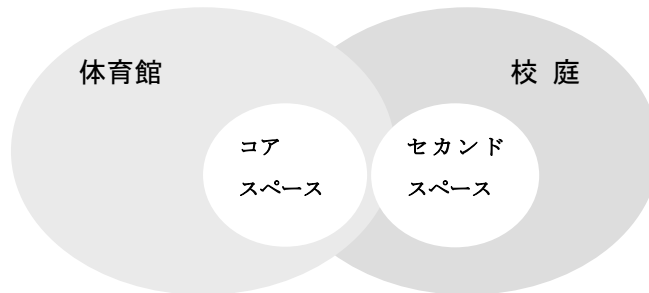
○施設内容：① 拠点となる部屋（教室等を活用）

・コアスペース・・・主に放課後児童クラブが使用する部屋

・セカンドスペース・・・全児童が共有して過ごす部屋

② 校庭・体育館・・・利用団体と調整して使用

③ その他・・・学校によっては図書室等を使用



○利用時間：月～金 放課後から校庭開放事業の終了時間まで
(放課後児童クラブは午後6時まで)

土 午前10時～午後5時
(放課後児童クラブは午前9時～午後5時)

長期休業日等 午前10時～校庭開放終了時間
(放課後児童クラブは 月～金 午前9時～午後6時
土 午前9時～午後5時)

※校庭開放事業終了時間は日没時間を目安に設定。

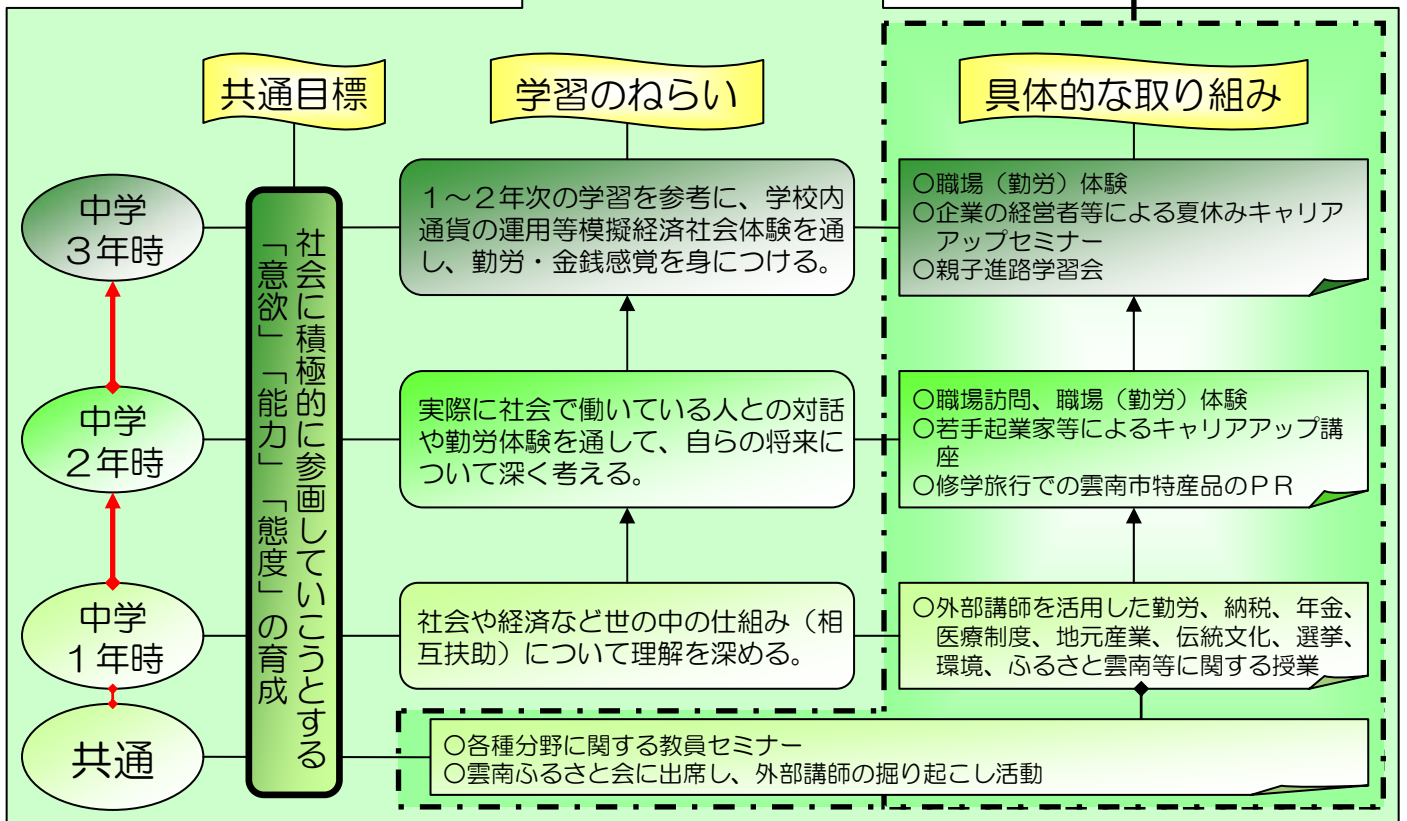
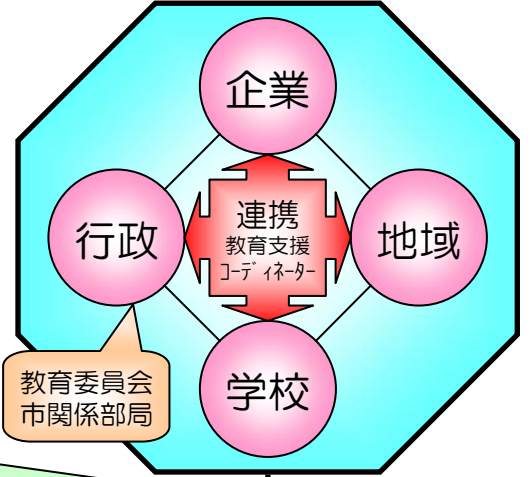
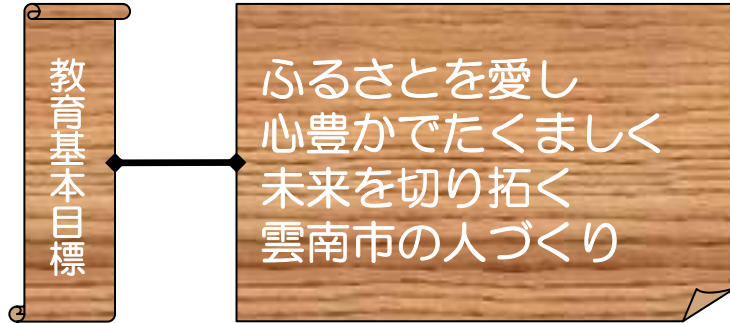
(概ね午後6時(夏季)～午後5時(冬季)頃)

○休館日：日曜日・祝日・年末年始



総合的な学習の時間等を活用した 「将来の良き市民育成プログラム(仮称)のイメージ」

島根県雲南市(平成19年度より実施予定)



推進方策

- 「総合的な学習の時間」等を活用し、教育支援コーディネーターを中心に、教員、企業関係者、地域住民、市関係部局と連携を図りながら、社会に積極的に参画していこうとする将来の良き「市民」を育成する(学習プログラムの開発)。
- 発達段階(学年ごと)に応じた「能力」「態度」を育成するための学習活動の展開
- 多様で幅広い他者との人間関係形成能力の育成
- 小学校との連携の充実・強化

背景

- 世の中の仕組み(相互扶助の考え方など)について学ぶ場や機会の不足
- 勤労体験を含む様々な社会体験活動の不足
- 家族、教師以外の大人とのコミュニケーションの不足

現状

- 全国的にフリーターやニートの増加、若者の働く意義の喪失、働く意欲の低下
- 税金等公共料金の滞納者の増加等(雲南市:給食費の滞納額島根県内ワースト1)